

組合員の作品



旧樺太庁 庁舎 (現 博物館)



故郷に立つ大鵬関

写真 サハリン(旧樺太)を旅して
成田支部 南 貢



茅葺の民家



かごの盛花



静かな住まい
水彩画 みい西支部 大原 郁子



アメリカン・デコパージュ
守口東支部 原岡 幹子



俳句

月今宵亡夫と仰ぎしその後かな

みい西支部

菅原 昌子

短歌

青蜜柑の虫捕る懐中電灯に墓地浮び従兄弟と競える

門真中央支部

兵頭 克己

まず皇居と伊勢神宮を遙拝し国民学校の朝礼始まる

成田支部

竹内 平

桜の宮のホームがこんなに曲ってる高校時代の記憶とちがう

門真西支部

遠藤 彰

長生きをせよと娘の送り来しウコン、亜麻仁油食卓にならぶ

守口さつき西支部

中山 惟行

「たび」のおまけ

やきもの散歩道・招き猫のナゾ?

愛知 常滑市

あなたが行かれる店に招き猫はいませんか。店のカウンターとか棚の上などに座っている猫、多分その猫は常滑産まれです。

作品の鑑賞を終え出発。会館の横のゆるやかな坂道を登ります。くねくねとまがる細い路地です。

日本六古窯のひとつに数えられる焼物の町常滑市を訪ねました。名鉄常滑駅を降り「やきもの散歩道」の出发点・常滑市陶磁器会館に向かいます。途中、高い壁沿いに飾られた陶製の猫が旅行者を迎えます。39体ある御利益祈願の猫です。

市指定の文化財廻船問屋「瀧田家」を見学し、さらに登るとよく知られる「土管坂」です。赤黒い土管を敷き詰めた珍しい風情ある坂道です。

「家内安全」「良縁」「夫婦円満」……「とこなめ招き猫通り」です。

坂道の補修をしている方にたずねました。「常滑には石という建築材がありません。そこで、壁の土留や道路の滑り止めに土管や焼酎瓶を敷き詰めたのです」

さて常滑市陶磁器会館では常滑焼の展示即売をしています。展示

土管坂は23メートル、土管63本、焼酎瓶390本使われています。坂は「ふるさとの坂道三十選」(国土交通

省)に選定されました。「やきもの散歩道」の最後のポイントが登窯と十本煙突です。現存する登窯では日本最大級だそうです。登窯を一周すると十本煙突は目の前。微妙に高さの違う威厳のある煙突です。

帰路、陸橋のたもとで突然出くわしたのが大きな招き猫!常滑の新しい観光スポット「ここにゃん」です。ガイドブックによると「ここにゃん」は高さ3・8メートル幅6・3メートル。[質問]どうして「ここにゃん」は手をあげているのですか。

[回答]左手をあげれば「人」を、右手をあげれば「金」を招くといわれています。なるほど知らなかった!

さて、あなたの知り合いの店の猫はどちらの手をあげています?

門真南支部 福山 斌尋



巨大な招き猫「ここにゃん」



23メートル続く土管坂

